



Support SE 愛LOVE友 Education

No.1
 美瑛町立美瑛中学校 すだちの教室
 2021年4月6日 発行
 文責 通級指導教室担当 井上



美瑛町では、生後6ヶ月頃のすくすく教室で子育て支援ファイル『すとリーむ』が配られます。『すとリーむ』には子どもの成長の様子を記録していきますが、保護者だけが記録するものではありません。子どもの成長に関わる保育園・幼稚園・小中学校や医療など、子どもに関わる人たちみんなで記録をしていきます。子育てに関わる連携を出生から取り組むことが美瑛町の特色で、美瑛システムです。『すとリーむ』を活用して我が子の特性や成長を見つめていく、子育てに関わる複数の視点で子どもの良さや成長を見取り、子育てしていく大切なファイルです。

保護者と教育相談をしていると「小さいときはこんなことで困ってたけど、できるようになったなあ」と『すとリーむ』を見返して思うことがあります。」と話される方がいます。記録を残すことで我が子の成長の足跡を振り返ったり、次の課題へのヒントを見つけたりすることができます。特に思春期に起きる様々な課題は、幼少期の小さな芽が解決されないまま繋がるケースが報告されています。

すだちの教室では『すとリーむ』を活用しながら本人の特性や課題を整理し、本人へのアプローチ方法やサポートを一緒に考えながら子育てのお手伝いをさせていただきたいと思っています。どうぞご協力・ご支援の程、よろしくお願いいたします。

(通級担当 吉田/鈴木陽/井上)

すだちの教室では、**自立活動**を行っています。自分の特性や個性を理解し、**自立した社会人**となって、**人生をよりよく生きるためのスキル**を学びます。大きくソーシャルスキルトレーニング、ライフスキルトレーニング、アカデミックスキルトレーニングに分けられます。本人と対話しながら自分の強みや苦手さを知り、**自己理解**を深めながらどのスキルが必要か**自己決定**し、日常生活に生かしていけるようにトレーニングしていくことが大切になります。

- ①自立活動チェックリスト表の作成から自立活動スキル項目の検討→個別の指導計画
- ②具体的な指導内容の整理→個別の指導計画
- ③実践したことをスケッチブックに記録。LINEを利用し写真とコメントで通知→**見える化**
- ④複数の指導者の視点から指導結果を分析し、保護者及び担任と共有→ **ケース会議**
- ⑤担任への通知⇔通級担当者との連携 日常的な連携とケース会議の重要性

★学級担任を中心に定期的なケース会議を行い、生徒の自立活動の実践や日々の様子をシェアし、これからの支援の方向性を確認していきます。保護者、学校、通級指導教室がチームとなって生徒に関わっていきたいと思っています。よろしくお願いします。★

4月のケース会議及び通級指導の日程調整については、4月6日から、随時、電話等で確認させていただきます。

